

令和6年度
小松市未来型図書館等複合施設基本計画策定支援業務
第2回リビングラボについて

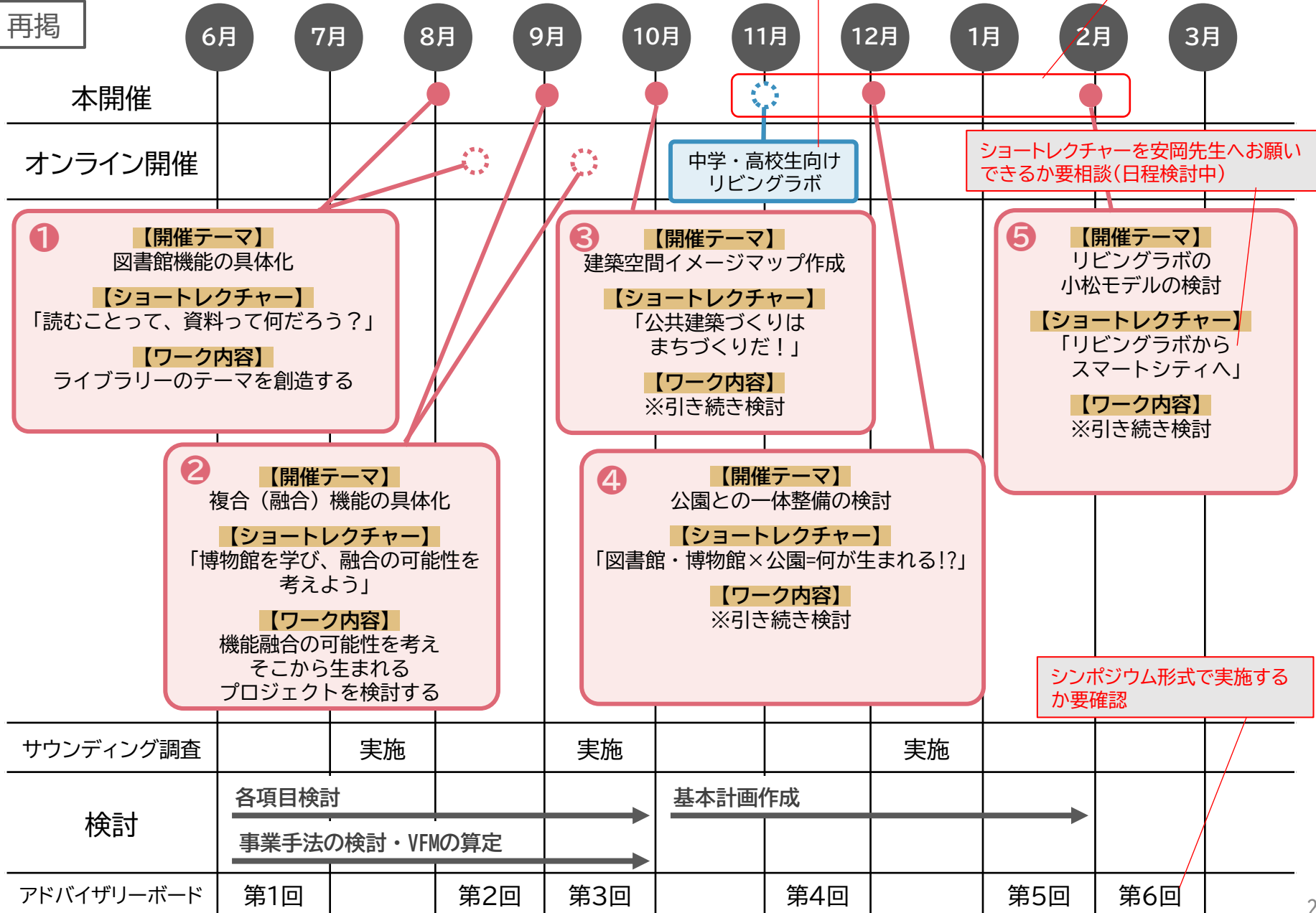
2024年8月6日（水）

R6年度こまつリビングラボの開催スケジュール

中高生向け開催内容について要確認・検討

10月以降の実施結果は基本計画内容に大きく反映が難しい(修正程度)となることに留意。あわせてワーク内容も要検討。

再掲



第2回リビングラボにおける現状の課題と目的

■ 現状の課題

- 未来型図書館の整備・検討の進捗に合わせ、一昨年・昨年の取り組み内容を踏まえ、リビングラボのワークの内容自体も着実にステップを進めていく必要がある。
- 複合（融合）機能を具体化するプロセスやワークのアウトプットと、それらがどのように基本計画に反映されるかのつながりを明確にする必要がある。
- 博物館機能等、現状具体的な検討の弱い要素についても補完していく必要がある。

■ R6年度第2回リビングラボの目的

- 第1回リビングラボでは、未来型図書館の核となる図書館機能を構成する上で重要な「ライブラリーテーマ」を考えた。その中で生まれたライブラリーテーマをもとに、第2回では、博物館や他の機能とどのような融合・連携を生み出せるかプロデューサーの立場になって考える。
- ライブラリーテーマを核とした企画やプロジェクトを考えることで、施設全体が真に機能融合するために必要となるリソース（人材やスペース・設備など）や機能間の関係性を把握し、第3回の建築空間イメージマップ作成につなげる。

2024年度（令和6年度）第1回 こまつリビングラボ（R6年9月実施）開催フロー案

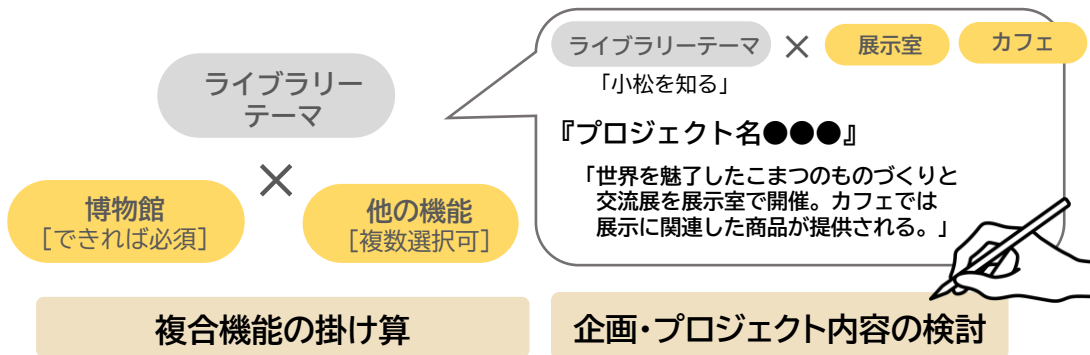
プロデューサーになってみよう

博物館や複合機能を考えるための
ショートレクチャーを実施します。

- ①【博物館について】
市学芸員
- ②【図書館×博物館について】
野末教授&杓谷教授（対談）
- ③【全国の事例について】
J V



- 第1回リビングラボで生まれたライブラリーテーマ中から1つを選び、博物館や他の機能を活かし、施設全体でテーマに関連した企画やプロジェクトをワークシートに沿って考えます。



ショートレクチャー

自己紹介

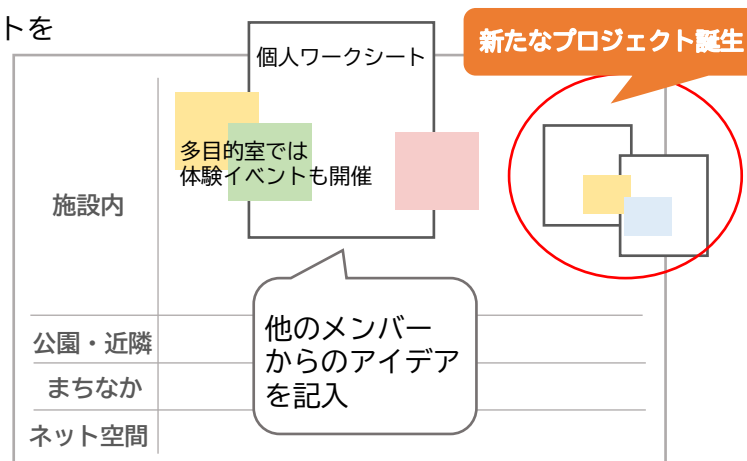
個人ワーク(企画・プロジェクト検討)

未来型図書館の機能融合の可能性検討

- 個人ワークで考えたプロジェクトをグループで共通します。他の人のプロジェクトとも融合・連携ができないか検討します。



- グループで検討したプロジェクトをマッピングします。



グループワーク

プロジェクトのマッピング

共有

さらなる融合・連携したプロジェクトが生まれませんか検討します